

## 【座間市 住居表示整備 実施基準 (抜粋)】

### 1. 町(丁目)の境界

- (1) 町の境界は公道・河川・水路または鉄道その他の恒久的な施設をもって、これに当てることとし、できる限り明確を期する。
- (2) 町の境界線は道路及び鉄道についてはその側線とし、河川及び水路はその中心線とする。その他の境界線については境界物の状況を考慮して適宜定める。

### 2. 町の形状

- (1) 町の形状は、その境界が複雑に入り組んだり、飛び地が生じたりしないよう簡明な境界線をもって区画された一団を形成するようにする。

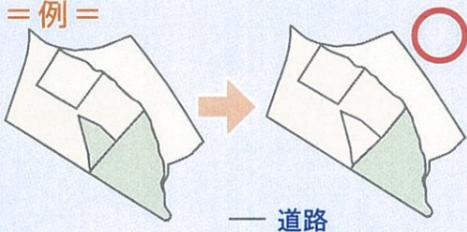
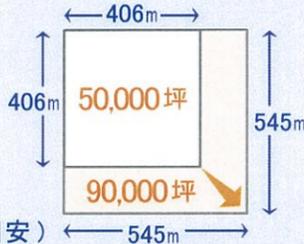
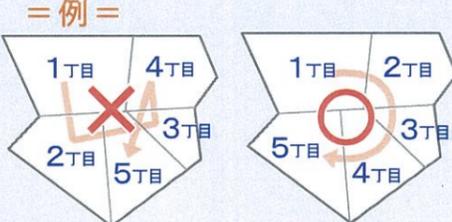
### 3. 町の規模

- (1) 町の規模は、市街地の用途地域、人口、家屋の密度、地形等を勘案し、概ね165,000平方メートル(50,000坪)から297,000平方メートル(90,000坪)の範囲とする。ただし、その区画内に学校、運動場、山林、大工場等々がある場合はこの限りでない。

### 4. 町名の定め方

- (1) 町名はできるだけ簡単なものとし、新たに町名をつける場合は歴史的由緒のあるもの、親しみやすいもの、語調の良いもの等を選択し、できるだけ当用漢字を用いて簡明なものとする。
- (2) 全市を通じて、同一の町名またはまぎらわしい類似の町名が生じないようにする。
- (3) 町名に「丁目」をつける場合においては、その利害得失を十分検討のうえ行うこととする。丁目の起点は原則として市の中心に最も近い地点として整然と配列し、丁目の数はなるべく5丁目程度にとどめることが適当であるが、地域の実情を考慮して判断する。

## 【実施基準の解説】

項目	内容	解説
町の境界	町の境界は公道・河川・水路または鉄道その他の恒久的な施設とする。	<p>町の境界は、町が発展しても位置が変わることがないように、主要道路、河川、鉄道などを境界とする。</p> <p>※民地境界・私道を町の境界にした場合、区画整理等で境界が消える場合が考えられる。</p> 
町の形状	町の形状は境界が複雑に入り組んだりしないように形成する。	<p>町の形状は利用者(訪問者)が混乱しないように極力単純な形状が望ましい。</p> <p>※徒歩や乗り物で訪問する場合、形状が単純であれば位置を容易に把握でき、目的地に到達しやすい。</p> <p>=例=</p> 
町の規模	町の規模は概ね50,000坪から90,000坪とする。	<p>町の規模は50,000坪～90,000坪を目安とする。</p> <p>※規模が小さいと町が多くなり、目的地を探しにくくなる。規模が大きいと街区数が増えるため、目的地を探しにくい。</p> <p>(距離は目安)</p> 
町名	町名は歴史的由緒のあるもの、親しみやすいもの、語調の良いものを選択する。	<p>後世に残るため、町名は突飛な名称よりも命名理由が明確なものであるほうが親しみがわきやすい。</p> <p>※小字名は、地形に由来する名称や施設名、伝承・伝説等に基づく名称が多い。 ※市内・近隣で使われている町名と混同されないような名称とする。</p>
丁目	丁目の起点は市の中心に最も近い地点として整然と配列し、丁目の数は5丁目程度にとどめる。	<p>町名に丁目をつける場合は市役所・駅などに近い地点を「一丁目」として丁目が飛ばないように連続性を持たせる。</p> <p>※連続性が失われた場合、訪問者が目的地や自身の位置を見失いかねない。</p> <p>=例=</p> 

# 立野台地区 住居表示の経緯

## 【実施までの経緯】

■ 昭和31年から昭和34年に立野台土地区画整理事業を実施。このときに町名変更と地番整理が同時に行われ、栗原から立野台に変わった。

■ 昭和56年度には土地区画整理より20年経ち地番の乱れより、住居表示の実施についての説明会、アンケートが行われ、住居表示審議会において地元の実施に対する気運が上がるまで延期するとの答申があった。

### アンケート調査

調査内容：『住居表示の実施に（賛成・反対） / 意見欄』  
 賛成 33.6% / 反対 16.8% / その他 0.8% / 未回答 48.8%

■ 平成4年度に他の地区が完了したことにより、立野台地区の住居表示実施の説明会を経て実施を行った。

■ 住居表示実施範囲は立野台と実施済区域にはさまれた大字栗原を含め範囲とした。

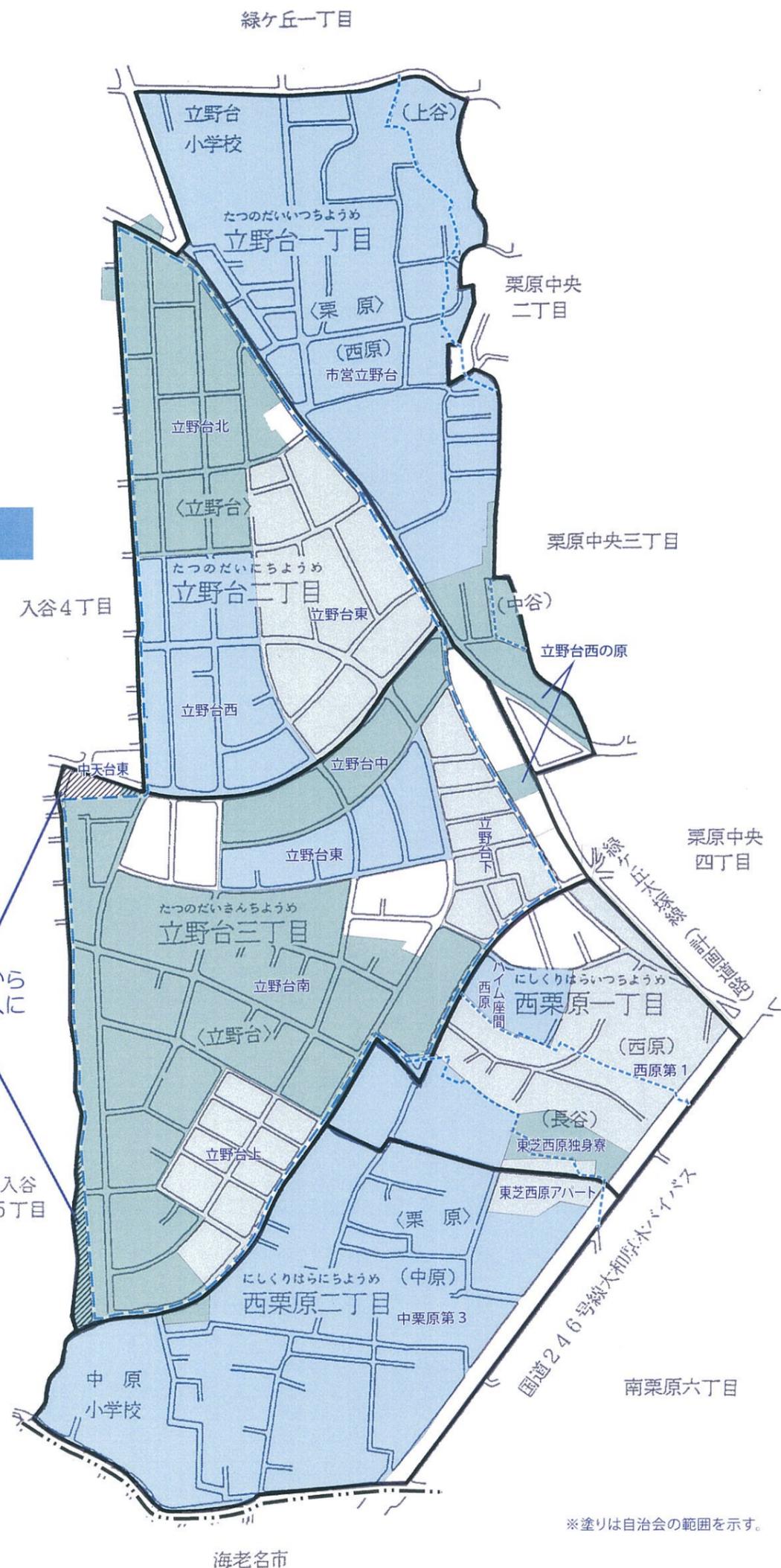
## 【検討のポイント】

### 『立野台地区の範囲に入谷5丁目が含まれた経緯』

立野台土地区画整理地区と道路で区切るために追加した部分及び、区画整理後の広がった住宅範囲を入れている。

### 『町名をアンケートの内容で決めている』

立野台1丁目から3丁目及び西栗原1丁目から2丁目としている。アンケート調査は自治会ごとに集計をしてその地区の最も多かった意見を町名としている。



凡 例	
———	新町界
- - - - -	区画整理範囲
.....	旧小字界
- · - · - ·	市 界
立野台一丁目	新町名
<栗原>	旧大字名
(上谷)	旧小字名
立野台北	自治会名

入谷5丁目から立野台に編入になった箇所

入谷5丁目

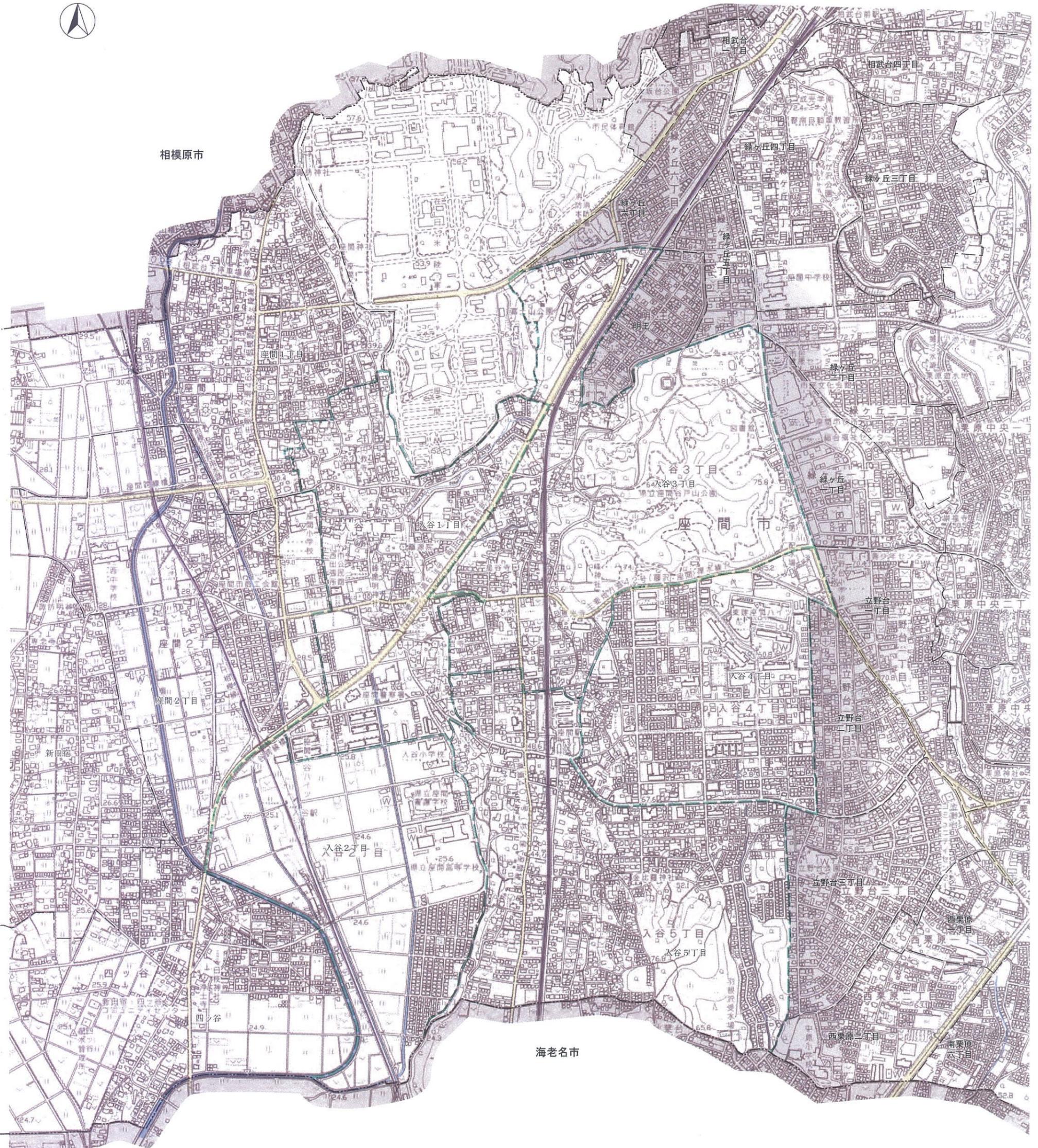
※塗り自治会の範囲を示す。

班名

# 入谷地区全体図



相模原市



海老名市

- 凡例
- 主要地方道、国道、県道
  - 鉄道
  - 河川
  - 現行町界
  - 郡市界

S=1:10,000

